

# 平成 28 年度事業計画

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

## I 基本方針

民藝運動の創始者である柳宗悦の活動基盤とした日本民藝館の創設（昭和 11 年 10 月）から 80 周年を迎える平成 28 年度は、創設 80 周年記念の特別展・講演・シンポジウムを開催するなど、公益事業のさらなる充実に向けた活動を推進する。

## II 事業

### 1. 展示活動及び調査研究と情報収集・提供に関する事業

#### 1) 展覧会名とその概要

日本民藝館の展示室において 5 期に分けて展覧会を開催する。創設 80 周年記念事業とし特別展覧会の開催と講演会・セミナー等を予定している。

- ・創設 80 周年特別展 日本民藝館所蔵 朝鮮工芸の美

会期：2016 年 4 月 2 日（土）～6 月 12 日（日）

内容：創設 80 周年を記念する最初の特別展として、当館の所蔵する朝鮮時代の陶磁器、絵画、木工、家具、石工品など諸工芸品の中から優品約 300 点を選び、一堂に展覧する。

記念講演会

「柳宗悦 浅川巧が愛した韓国 ー柳宗悦 河井寛次郎 濱田庄司が歩いた道を歩く」

日時 5 月 7 日（土） 18 時～19 時 30 分 講師 藤本 巧（写真家）

- ・創設 80 周年特別展 日本民藝館所蔵 沖縄の工芸

併陳 坂本万七撮影による戦前の沖縄写真

会期：2016 年 6 月 21 日（火）～8 月 21 日（日）

内容：当館が所蔵する染物・紅型をはじめ、苧麻や芭蕉布などの織物、色絵・白掛の陶磁器や厨子甕などの諸工芸品に併せ、柳と共に昭和 15 年に沖縄に渡り撮影した坂本万七の貴重な風物写真の数々を展示。

記念講演会（予定） 「柳宗悦と沖縄の染織」（仮題）

日時 7 月下旬（土） 18 時～19 時 30 分 講師 柳 悦州（沖縄県立芸術大学教授）

- ・創設 80 周年特別展 柳宗悦・蒐集の軌跡 ー日本の工芸を中心にー

会期：2016 年 9 月 1 日（木）～11 月 23 日（水・祝）

内容：柳宗悦のコレクションは、1924 年に創唱した「民藝」という新しい概念に基く。本展では、そのコレクションがどのように形成されてきたか、日本の工芸を中心に構成し、柳の蒐集の軌跡を辿る。

記念講演会（予定） 「柳宗悦の蒐集ー辺境への眼差し」（仮題）

日時 10 月下旬（土） 18 時～19 時 30 分 講師 中見 真理（清泉女子大学教授）

- ・創設 80 周年特別展 平成 28 年度 日本民藝館展 ー新作工藝公募展ー

会期：2016 年 12 月 11 日（日）～12 月 23 日（金・祝）

内容：手仕事による伝統的な工芸品を中心に、日本各地で作られた新作工芸品の数々を展示・

販売する、恒例の新作工芸公募展です。＜出品作＞陶磁器・織物・染物・木漆工・ガラス工・紙工・金工・竹工・藁工 他

・創設 80 周年特別展 柳宗悦と民藝運動の作家たち

会期：2017 年 1 月 8 日（日）～3 月 26 日（日）

内容：柳宗悦と共に民藝運動を推進したバーナード・リーチ、河井寛次郎、濱田庄司、芹沢銈介、棟方志功を中心に、彼らに続く舩木道忠・研児、柳悦孝、柚木沙弥郎など、民藝美に触発された作家たちの仕事を紹介。

記念講演会（予定） 「民藝の擁護」（仮題）

日時 3 月上旬（土） 18 時－19 時 30 分 講師 松井 健（東京大学名誉教授）

2) 調査・研究及び情報収集・提供に関する事業

・坂本万七撮影画像データの必要情報（撮影時期・場所等）の調査結果を展示公開する。

3) 資料・文献などの保存整備と活用

①所蔵品の書籍・文献類の目録整理と電子データベース化の継続により、これらの基礎データを充実させ活動の効率化を図る。

②所蔵品の保存・劣化状態を定期的に点検し、修復に必要な作品は適宜措置を施す。

## 2. 民藝の普及・振興に関する事業

1) 各地の美術館及び他民藝館などへの所蔵品の館外貸出等による民藝の普及活動

\* 日本民藝館の所蔵品等を各地の美術館に貸出を行い民藝の振興に取り組む

2) 各地美術館及び関係団体への講師・講演協力

・日本民藝協会全国大会及び日本民藝協会夏期学校、他美術館への講師支援

3) 館創設 80 周年記念事業（記念シンポジウム・記念募金）

・80 周年記念事業として講演会・シンポジウム開催と募金事業の実施

4) 博物館実習生への現場教育の機会提供

・博物館学芸員資格の習得を希望する学生に対し、博物館における実習の場を大学からの依頼に基づき積極的に提供する。実習生数：約 15 人程度 実習期間：10 日間（講義 4 日、実務実習 6 日）

5) 「日本民藝館友の会・維持会」会員への情報提供

①会員を主たる対象としたセミナー、見学会など定期的な開催を企画していく。

②会員に情報「日本民藝館の特別展・記念講演・見学会の案内」を定期的に送付する。

6) 小学校との連携による美術館教育などの教育普及活動

・民藝の教育普及活動の一環として、小学生を対象とした鑑賞教室や出張授業などの企画・運営を行う。

7) 国際文化交流に関する事業

国外所在文化財財団（韓国）の助成金によって行われた館所蔵の朝鮮時代関連資料調査・研究および所蔵品の修復過程における結果報告会を創設 80 周年特別展「朝鮮工芸の美」にあわせ国外所在文化財財団（韓国）に要請する。

## 3. 民藝に携わる工人の育成及び協力・支援に関する事業

・日本民藝館展の開催(新作工芸公募展)

①出展公募：民藝の物作りの製作者および協力製作者を対象とした新作工芸品の公募をおこ

ない、出品作品の中から優秀な作品を選考、表彰し出品者への講評会をおこなう。

②展示公開/即売：選考された優秀な作品を大展示室で展示公開する。また、入選作品の即売を通して作り手の支援を行う。

③表彰式・講評会：各分野別に審査員と出品者が出品作品についての講評会と意見交換会を行う。

#### 4. その他 広報活動の向上に関する事業

##### 広報活動

①ホームページ/facebook/有料ポスターによる情報の発信

展覧会情報や各種催事情報等を積極的な Net 発信と引き続き全展覧会のポスターを電鉄構内の掲出により幅広い客層の獲得に向けた活動を展開する。

②マスメディアの情報による集客強化

館の展覧会・催事について、TV、新聞、雑誌などのマスコミ取材に積極的に対応するほか、ポスター、インターネットの活用など情報媒体の多様化を継続的に進める。

以上